

2024年9月30日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社テイツーに「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社テイツー（代表取締役社長：藤原 克治）に「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を実施いたしました。

「SMBC 社会課題解決推進支援融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業の社会課題解決に向けた取り組み状況を確認した上で、①組織の社会課題への取り組み姿勢等に対する所見と、②ロジックモデル（事業活動を通じた社会課題への道筋を見える化したもの）の仮説を提示し、今後の取り組み推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社テイツーについては、以下に記す事業を通じた社会課題解決について、取組推進に向けたアドバイス等を提供しました。

① 書籍等のリユース事業を通じた廃棄物削減への貢献

事業内容	全国に170以上の店舗を有し、新品及び中古品の書籍、トレーディングカード（トレカ）、ゲーム機器等を国内外の顧客に販売されています。また、実店舗の販売拠点拡大に加え、EC 売上の拡大にも注力しておられます。
当該事業を通じて解決を目指す社会課題の概要	国内では年間約4千万tの一般廃棄物、約3億8千万tの産業廃棄物が排出されていますが（2022年度）、廃棄物処理施設の老朽化や、地域の人口減少・高齢化に伴う担い手不足により、持続可能な廃棄物処理体制の構築が課題となっています。一方、日本の一般廃棄物リサイクル率は19.6%であり（2022年度）、計算方法の違いを差し引いても欧州各国より低い状況です。またリサイクル率は10年以上伸び悩んでいます。
社会課題解決への貢献内容	書籍、トレカ、ゲーム機器/ソフト、CD・DVDなど、取扱い製品を多様化することで、多くの種類の製品のリユースを促し、これら製品の廃棄削減に貢献しておられます。また、多様な製品のリユースを進めることでリユース市場がさらに拡大すれば、資源の循環利用の促進につながります。

② 地方創生や包摂的な社会の実現を目指す地域コミュニティの形成

事業内容	自治体等と連携し、販売には向かないマンガ等を地域の施設に提供することで、人々が集まる場（コミュニティ）の創出を支援しておられます。また、店舗の廃棄品を多機能型事業所の運営施設等に提供し、障がい者の新たな雇用機会を創出されています。さらに、産官学民で連携し、子ども向けイベントやe-スポーツ普及活動等を実施しておられます。
------	--

<p>当該事業を通じて 解決を目指す 社会課題の概要</p>	<p>不登校の小中学生は30万人近くいる（2022年度）と言われており、10年連続で増加しています。支援が必要でも、地域や学校の中では見えづらく、支援団体につながりにくいという問題もあります。子どもの孤立化を防ぐため、周囲が気付いて声をかけたり、適切な支援につなげたりできるように、周囲の大人が知識とネットワークを持ち子どもに関わることが重要とされています。</p>
<p>社会課題解決 への貢献内容</p>	<p>地域コミュニティの創出を支援することで、地域経済の活性化や地方創生に寄与しておられます。障がい者が働く施設への廃棄品の提供は、彼らの仕事の選択の幅を拡げ、自立促進に寄与すると考えられます。e-スポーツ普及活動は、不登校や引きこもりの子ども達が活躍する場の創出につながります。これらの取り組みを複数の地域で展開することで、より広範な人々の社会的な包摂を促進しておられます。</p>

株式会社三井住友銀行では、「SMBC 社会課題解決推進支援融資」を通じて、お客さまの幅広い社会課題解決に向けた取組を支援することで、お客さまとともに社会的価値創造の好循環を生み出す取組を推進してまいります。

「トキワ荘マンガミュージアム」のある東京都豊島区の商店街と連携し、当社店舗「ふるいちトキワ荘通り店」を2店舗出店。商品の販売だけでなく、ブックカフェ、イベント等、あたらしい「集いの場」として運営を行っており、マンガの聖地“トキワ荘”を世界ブランドとして発信する取り組みを推進し、観光客の来訪、地域経済やまちの活性化に貢献しています。



<店舗外観> (左) ふるいちトキワ荘通り店 1号店、(右) ふるいちトキワ荘通り店 蔵【KURA】



子どもの未来応援活動として、地域イベントへのブース出展や、廃棄品を活用した「おもちゃ市」を定期開催する等、イベント参加を通じて地域との連携を深め、SDGsの取り組みを推進しています。



岡山県を拠点としている e スポーツチーム「SETOUCHI SPARKS」とスポンサー契約を締結いたしました。また、一般社団法人岡山県 e スポーツ連合のパートナー企業として、e スポーツイベントを単なる競技や体験で終わらせることなく、不登校の子ども達や障がいのある人、高齢者に対象を広げ、フレイル対策や認知症予防、健康増進を目指しております。

＜締結式の様子＞

(左) (株)テイツー代表取締役社長 藤原様、
(右) SETOUCHI SPARKS 代表 大島様

以 上